

医療提供状況の地域差

(都道府県別、二次医療圏別、市区町村別)

～ 評価・分析WG(4月) 藤森委員提出資料より～

平成29年4月28日

内閣府

レセプト情報等を集約したNDB (National Data Base) を活用し、各診療行為 (診療報酬の算定回数) の地域差を「見える化」

各都道府県の年齢構成の違いを調整し、レセプトの出現比 (SCR) として指数化 (全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる)

外来約2,200項目、入院約2,800項目の診療報酬項目のSCRを一般に公開 (都道府県別、二次医療圏別、市区町村別)

二次医療圏別、市区町村別は平成29年4月28日に公表

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/mieruka/index.html>

SCR (Standardized Claim data Ratio) とは

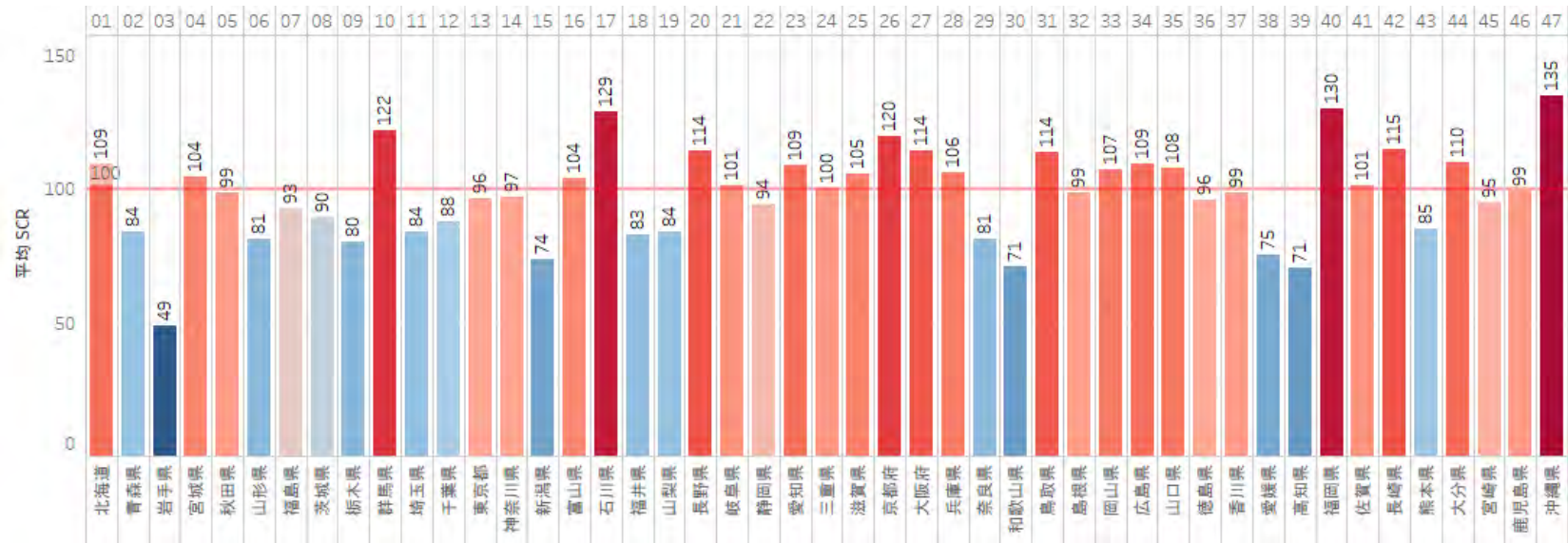
全国の性・年齢階級別レセプト出現率を対象地域に当てはめた場合に計算により求められる期待されるレセプト件数と実際のレセプト件数とを比較したもの。年齢構成の異なる地域間の比較に用いられSCRが100以上の場合は全国平均より当該項目の件数が多いとされる。

$$\begin{aligned} \text{SCR} &= \frac{\text{性・年齢階級別レセプト実数}}{\text{性・年齢階級別レセプト期待数}} \times 100 \\ &= \frac{\text{性・年齢階級別レセプト数}}{(\text{各地域の性・年齢階級別人口} \times \text{全国の性・年齢階級別レセプト出現率})} \times 100 \end{aligned}$$

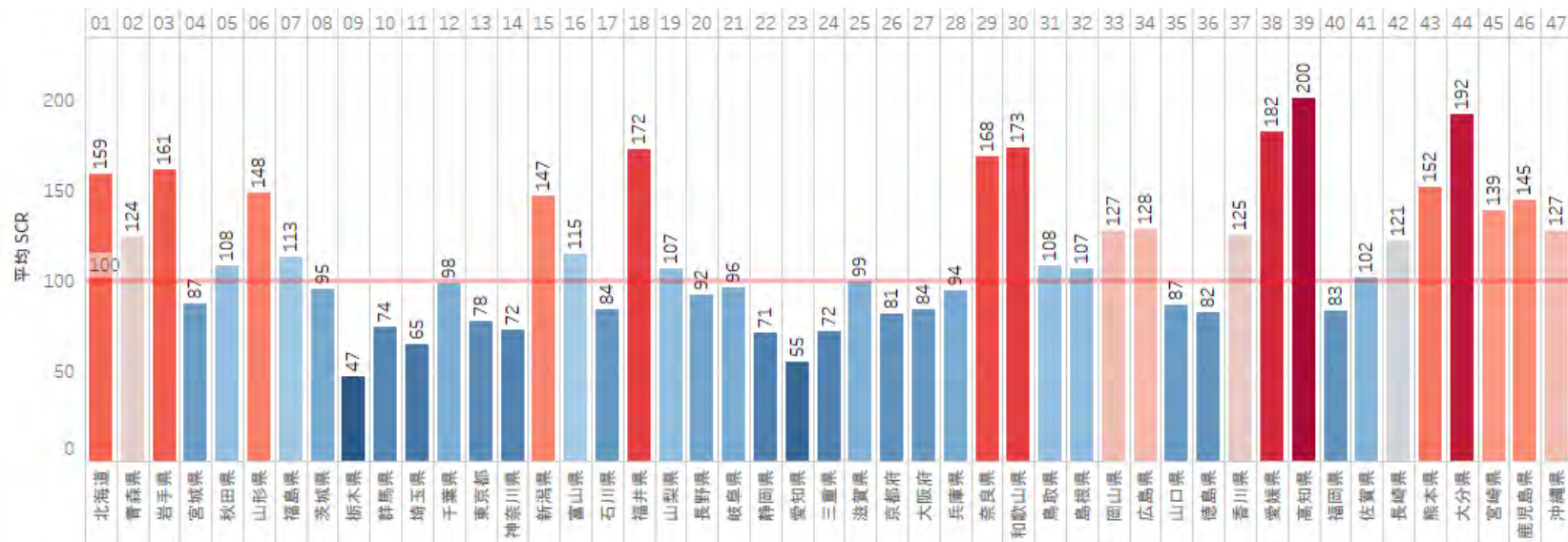
(NDB集計対象データ)

- ・平成27年度診療分 平成27年5月～平成28年5月審査分から抽出
- ・合計約10.1億件のレセプト 医科:外来 約983百万件 入院 約16百万件 DPC:約11百万件
- 医療機関所在地ベースの集計であり、流出入は考慮していない
- 公費単独 (生活保護等) は含まれていない

A1001 一般病棟7対1入院基本料 (190117710) 9,454,487件

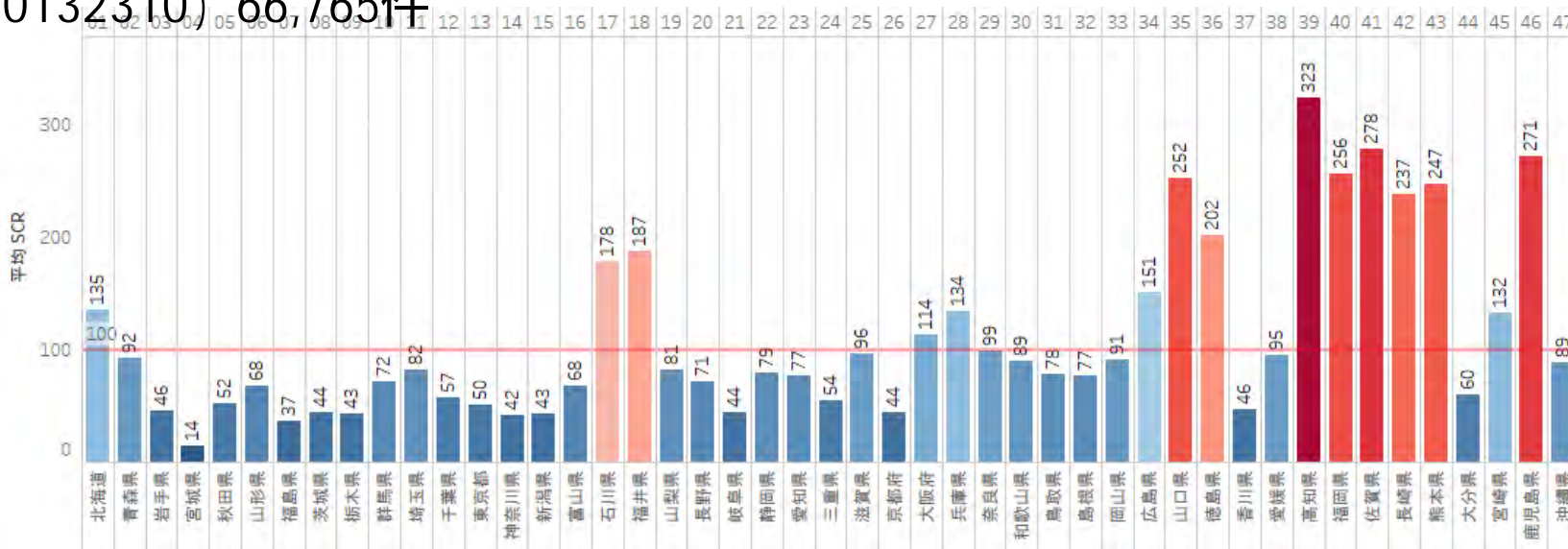


A1002 一般病棟10対1入院基本料 (190077410) 3,614,772件

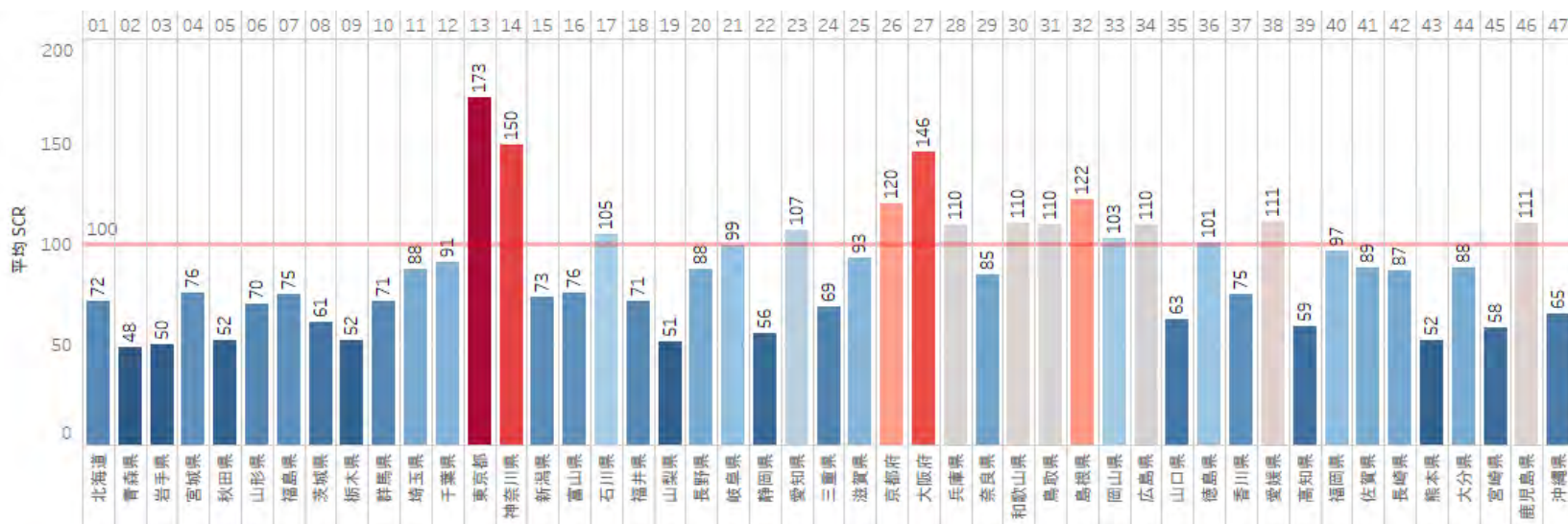


7対1、10対1はDPC/PDPSで包括化される入院料についても解析して集計している

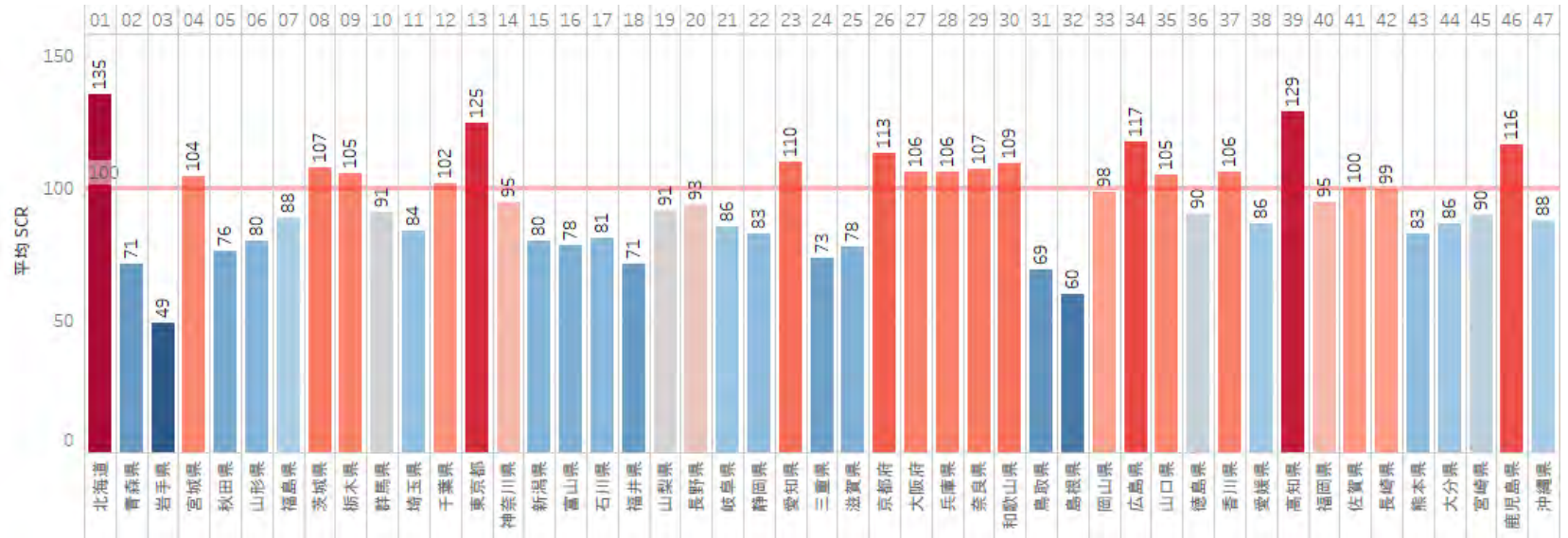
A1011 療養病棟入院基本料1 (入院基本料H) (生活療養) (190132310) 66,765件



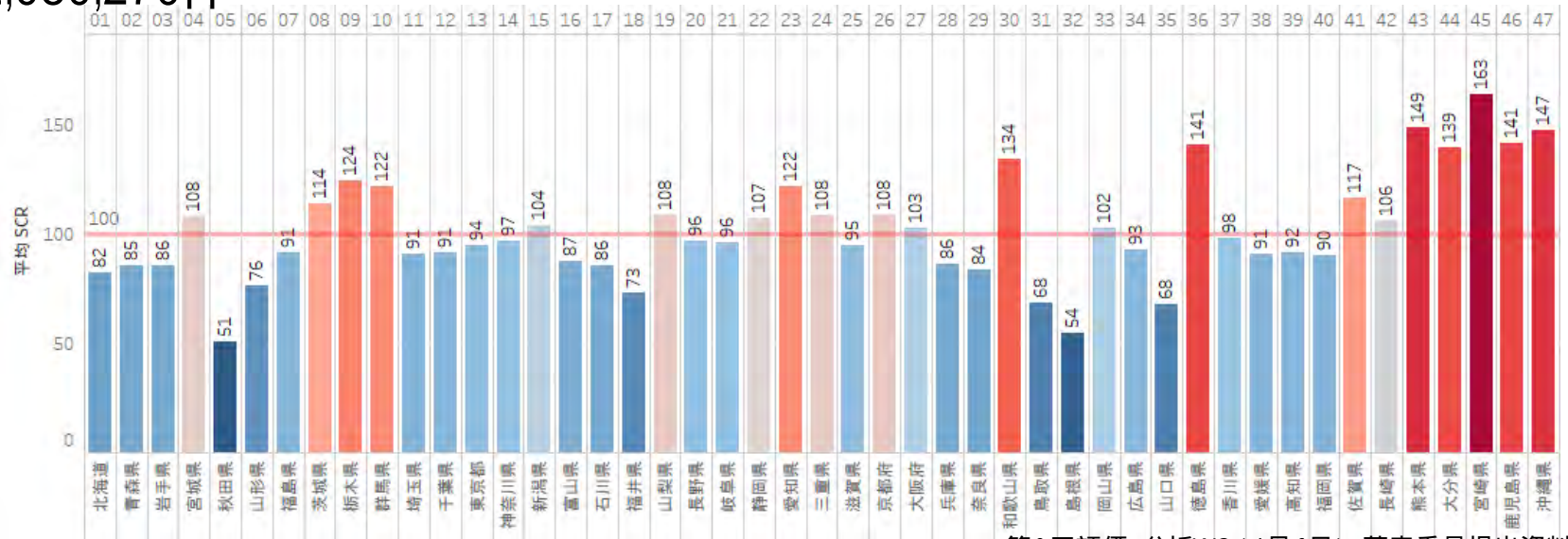
C0011 在宅患者訪問診療料(同一建物居住者以外) (114001110) 4,711,488件



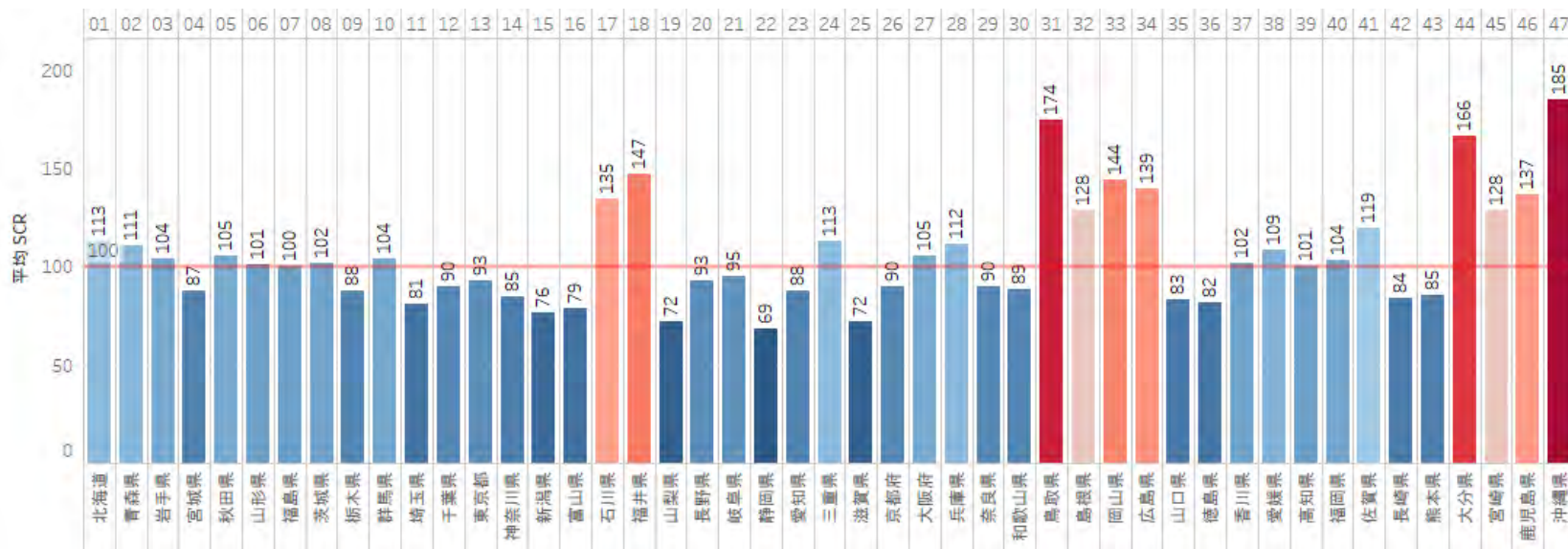
E202-2 MRI撮影(1.5テスラ以上の機器)(170020110)、外来8,929,020件



J038-1 人工腎臓(慢性維持透析)(4時間以上5時間未満)(140051010)、外来2,080,270件



K664 胃瘻造設術 (150171610) 59,496件



J120 胃瘻より流動食点滴注入、入院 (140023350) 220,918件

